

にいが

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2025年10月25日発行

第14号(通巻第374号)

発行者: 星山 圭 編集者:組織部

2025年度年末手当

|く求めます

|は「勇翔2034」を発表

今年7月にJR東日本

し、社員は更なる変化を求

本部申

11

っとして10

月 20

日に提出

れます。 25年度年末手当につい て、労使で団体交渉が行わ て申し入れを行いました。 会社にとって期末手当 今後、要求内容を巡っ 東日本ユニオンは、20

るのは労働組合だけです。 としている経営側と対峙 ます。固定費の削減を課題 の支給額を増やすことは し、交渉を行うことができ 人件費の増加につながり 春闘や夏季手当など、

音の声」が大きな力となっ 日本ユニオンに寄せられ れまでの団体交渉でも東 た組合員・社員からの てきました。

みなさんの生活実感

労

ました。

期外は新幹線が約

50

対前

忌見をお寄せください! 要求満額実現のために

しょう!

た社員に対する還元を強|訂では定期昇給だけでな

億円でした。

好調な業績を作り出し

227億円多い5296

|社員の努力に報いる手当 |中で、職務を全うしてきた を大きく変えられてきた 7に基づき仕事や働き方

が必要です。

2025年度の賃金改

営業収益は昨年度より

|働実感、提案されている新 さんの知恵と力を貸して る声が要求実現に向けて たな組織と働き方に対す の大きな力となります。 ち東日本ユニオンにみな 要求実現に向けて、私た

下さい!

円となりました。 により、 により、

価証券売却益の計上など やエキナカ店舗の売上増 ともに5期連続で増収増 4%の786億円となり 益を実現しました。 104・2%の7153億 これによると、連結・単体 四半期純利益は投資有 連結では鉄道の 営業収益が対前年 年107・ 利用増 なりました。 なりました。 入は、定期で約20億円、定 利用増となりました。 在来線も首都圏を中心に により営業利益は微減と 対前年202億円の増で したが、物件費の増加など それにより、 新幹線は利用増で増収、 運輸事業は、営業収益が 鉄道運輸収

増 決算を押し 0) 現し、単体決算 降、5期連続で でした。 0) 9 好調が連 収増益を実 コ ロ ナ 0 禍 億 以 結 円

1 0 4・5%の 収益が対前 内容を据え置きました。 る結果となりました。 在来線で約25億円、合わ 5296億円 績予想は、4月に公表した て計画より約95億円上回 単体では営 2025年度通期の業 年 7153 せ 5296

形となりました。 全体の好調に反 力がJR東日本グル 末に発表される予定です。 私たち社員の日 第2四半期決算は É Z 1 0)

も職制による格差がつけ く取り組んできたもので めの努力は全社員が等し られました。 く、ベースアップにおいて 越え、会社を発展させるた 厳しい経営環境を乗り

増収増益を実現しました。

四半期決算は5期連続の

JR東日本単体の第1

入れを提出しました。 度年末手当に関する申し 20日、申11号・2025年 に関して中央本部は10月

められています。

これまでも変革202

不可欠です。 手当支給を求めます。 あり、全社員一律での年末 で取り組みを創り出しま 間6・5ヶ月分以上が必要 得実現に向けて、全組合員 期末手当は最低でも年 年末手当要求の満額獲

◆本部申11号 要求項目◆

- 2025年度年末手当の基準額は全社員一律 「基準内賃金の3.7ヶ月分」とすること。
- 2025年度年末手当は

2025年12月12日(金)までに支払うこと。

当は、 れました。 は寄せられた

東日本ユニオ



|声をもとに、0・7カ月分 一組みを行いました。 の追加支給を求める取り を抱えているという実態 が夏季手当に対して不満 せんでしたが、多くの社員 追加支給は実現できま

2.8力月分

答は納得できない」「夏季 2・8ヶ月という低額に抑 する多くの社員 認められない」と 納得できない 手当2・8ヶ月は 賃金と夏季手当の同時回 え込まれました。 スアップ格差は 「職制によるベー 東日本ユニオンには「新 2025年度の夏季手 本音が寄せら 「同時議論」によって 経営側による新賃金 からは不満の声 東日本ユニオンに 寄せられた本音 が明らかになりました。

5期連続の増収増益

| 半期決算を発表しました。 に、2025年度の第1四 JR東日本は7月31日 JR東日本 第1四半期決算

てのセグメントが増収と 益となったのをはじめ、全 通・サービス事業が増収増 セグメント別では、流

四半期 は 1 2 9 6 純利 益

6 億円、 げています

JR東日本第1四半期決算における営業収益の推移 (億円) 8.000 6866 6294 6,000 5576 5,000 4333 5069 4635 4.000 3329 4132 3,000 3089 2,000 2313 1,000 2025 (年度) 2020 2021 2022 2023 2024